

令和8年度 北浦小学校の教育活動

【教育方針】健康で豊かな心をもつ児童の育成と魅力あるふるさとづくりを目指し、学習指導要領の趣旨を基本とした授業改善、並びに地域社会と協働した創意と特色ある教育活動を通し、志教育の意義を踏まえ活力に満ちた教育を推進する。

【学校教育目標】「自分大好き 友だち大好き 美里大好き 北浦っ子の育成」

【めざす学校像】

- (1) 子供の長所を伸ばし、自己肯定感を高める学校
- (2) 困難や失敗を乗り越える過程を重視し、子供に前向き・肯定的な態度を育む学校
- (3) 子供が取り組みたいことに挑戦させ、見守っていく学校
- (4) 安全・安心な子供の居場所のある学校
- (5) 地域や家庭とつながり、ともに成長する学校

自分大好き

- ・自己肯定
- ・自分を知る
- ・自尊感情
- ・長所を伸ばす
- ・成功体験
- ・失敗経験
- ・忍耐力
- ・自己決定
- ・挑戦、勇気
- ・達成感
- ・前向き、肯定的、プラス思考

友だち大好き

- ・他者肯定
- ・相手を知る
- ・ともに学ぶ
- ・ともに育つ
- ・あいさつ、返事
- ・感謝
- ・相手の話をしっかり聴く
- ・自分が言わ(さ)れていやなことは言わ(し)ない

美里大好き

- ・地域を知る
- ・かかわる
- ・伝統文化に触れる
- ・人とつながる
- ・愛校心
- ・体験、経験
- ・感動、喜び
- ・地域行事への参加
- ・成就感、自己有用感

【めざす教職員像】

- (1) 子供の心に火をつける教職員
- (2) 「分かる」「できる」授業を追究する教職員
- (3) 共感し、尊重し合う教職員
- (4) 後ろ姿で教育する教職員
- (5) 学び続けようとする教職員

【学校経営方針】子供の可能性を見出し、伸ばす

- なりたい自分のイメージ化を図る
- キャリアパスポートを活用する
- 各教科・領域に「かかわる・もどめる・はたす」を位置付ける
- 地域の方々や素材による授業や体験活動を取り入れ、人々の生き方を学ぶ機会を設定する
- 「みやぎの先人集 未来への架け橋」を活用した授業実践を進める
- 架け橋プログラムに基づいた円滑な幼・保・小の接続と交流を深める

【志教育の推進】

人々の生き方を学び、自分の将来の夢や希望について考えさせる。



自分大好き北浦っ子

【知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力等の育成】

○「学びに向かう北浦っ子」の育成

- ・自分には価値がある、いいところがあると感じさせる授業づくり
- ・生徒指導の実践上の視点が働く授業づくり
- ・学びの姿である「北浦小スタンダード」＋話型の定着
- ・好奇心・探究心・向上心を持ち、自ら学び続ける児童の育成の自校化
- ・子供の学びを支援する5つの提言の実践
- ・タブドリLive!の活用

○協働的な学びの充実

- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的実施、「きたスタ」の学習過程への位置付け
- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得、「何を学ぶか」(インプット中心)「どのように学ぶか・何ができるようにするか」(アウトプット中心)
- ・手書きの重視による読解力の向上
- ・標準学力調査、全国学テから明らかになった課題の補充

○「朝学習・自主学習」の拡充

- ・αドリルによる読解力の向上
- ・「自主学習のしおり」「なしのみカード」の活用



友だち大好き北浦っ子

【豊かな人間性と志の育成】

○「共に成長する北浦っ子」の育成

- ・困難にもあきらめないしなやかな心の育成
- ・学校生活の中で、様々な失敗や成功を経験し、そこから学んだことを人間関係づくりに生かすための働きかけ
- ・いいところ探しが自然にできる学級づくり
- ・多様性を尊重する意識の醸成(みんな違ってみんないい)
- ・分からないときは、自分から友だちに聞ける関係づくり
- ・年間を通じた「あいさつ」の継続指導
- ・行事、縦割り活動、集会活動における異学年交流の推進

○いじめ、不適応等の早期発見と対応

- ・いじめを見落とさない体制づくりと取組の実施
- ・学校生活アンケートを生かした子供理解と生徒指導
- ・教育相談(児童)による状況把握と励まし
- ・幼保小、小小、小中連携と児童生徒の交流の促進

○志教育の推進

- ・キャリアパスポートの活用
- ・各教科・領域への「かかわる」「もどめる」「はたす」の位置付け
- ・なりたい自分のイメージ化
- ・「みやぎの先人集 未来への架け橋」の活用



美里大好き北浦っ子

【ふるさと教育と健康・安全教育の推進】

○「美里を愛する北浦っ子」の育成

- ・地域に出て地域に学ぶ学習活動の充実(美里学)
- ・地域の資源や人材を活用した志教育、協働教育の推進
- ・伝統芸能の継承、発展、発信(関根神楽)
- ・体験学習の充実(北浦梨作り、米作り、大崎耕土、自然観察等)

○家庭教育の充実

- ・会話の機会確保等による親子の愛着形成を啓発する
- ・基本的な生活習慣の確立やスマートフォン、SNS等との適切な関わり方についての家庭への啓発

○歯・口の健康と体力・運動能力の向上

- ・学校、家庭、地域ぐるみで取り組む歯・口の健康づくり
- ・食育と関連付けた口の機能の健全な発達を促す習慣の形成
- ・ノーメディアデーによる目と心、体の健康維持
- ・外遊びの推奨(朝・業間・昼休み・放課後)
- ・体育の授業における継続した体づくり運動の実施
- ・体力・運動能力調査における課題の把握と改善

○防災、安全、命を大切にする教育の推進

- ・道徳、学活と関連させた「命を大切にする教育」の推進
- ・交通事故ゼロを目指す啓発活動

(4月:だるまの目入れ式、毎月1日・毎週火曜日:スカーフの日)



【児童が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばすための教育評価】

- 教育評価システムを生かした学校運営(検証、改善)
- 学校評価の公表(保護者・地域住民の理解と参画)

【「寄り添い、任せ、見守っていく」子供の側に歩み寄る教育の推進】

○子供の実態を踏まえた指導や支援の推進

○共生社会を目指し交流学習を通じた特別支援教育への理解促進

- ・子供が何をどう考え、どう判断し、どう行動しているか、子供の側から深く掘り下げ、理解しようと努める。

- ・生活や諸活動の場を生かして自尊感情を高め、育てる。

- ・普段の生活の様子を観察し、記録に残す。